



## 情報モラル教室

先週の水曜日の午後に情報モラル教室を開催しました。KDDI から講師を招いて、スマホやケータイのトラブルに関する具体例から正しい扱い方、トラブル回避等について学びました。

昨年度も実施した情報モラル教室ですが、昨年度は感染症対策のため、オンラインで実施しました。講師の方を応接室にお招きして、そこから各教室にオンライン配信する方法で実施しましたが、今年度は、全校生徒が体育館に集まり、講師の方が直接全校生徒に話しかける対面形式での講演が実現しました。

### <講師の先生から>

本日講演された講師の方は、KDDI ケータイ教室の担当で、全国津々浦々の学校を回って、講演を行っています。そんな講師の方が、講演を終え、帰路につかれる前に、「浅江中の生徒のみなさんにぜひ伝えてほしい」と村田教諭（情報モラル教室担当）に以下のことを話されました。

### 【講師の方が生徒に伝えたかった内容】

私（講師ご本人）は、全国多くの学校を回って、今日のような話をしています。大きな学校もあれば、小さな学校もあります。そんな中、今日ケータイ教室を受講してくれた浅江中学校の生徒さんは、他の学校とひととき違う部分、素晴らしい!と感じる部分がありました。礼儀正しく、一所懸命に話を聴いてくれる学校は、ほかにもたくさんありますが、生徒のみなさんの所作がこんなにも素晴らしい学校にはじめて出会いました。体育館に入場するときの整然とした動き、大集団がスムーズに入れるようにそれぞれが動線や足音までも気にしているところ……さらには講演を聴いているときの姿勢や眼差し……こんなにも素晴らしい学校は見ることがありません。

講師の方からこの話を直接聞いた村田教諭は、先週末の朝の全校集会の中で、上記の内容を全校生徒に伝えました（右写真）。

これまで幾度となく子どもたちの集団としての素晴らしさをお伝えしてきましたが、子どもたちと一緒に生活をしていると、「これが当たり前」と思ってしまうようです。

浅江中の子どもたちの「当たり前」は素晴らしいことであることを再認識することができた瞬間でした。



### 【『精神科医 Tomy が教える1秒で元気が湧き出る言葉』から】

当たり前のことが当たり前にできる人って、実は超優秀なのよ。

それは何より大切な才能で、しかも自力で確実に得られる才能。一つひとつ、小さな改善を積み重ねればいいから。